

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成21年2月12日
【四半期会計期間】	第63期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北村 健
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務担当 北村 倍章
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務担当 北村 倍章
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第3四半期連結 累計期間	第63期 第3四半期連結 会計期間	第62期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日	自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
売上高(千円)	6,273,025	2,011,337	8,333,449
経常利益(千円)	541,155	151,688	477,441
四半期(当期)純利益(千円)	327,119	54,441	262,742
純資産額(千円)	-	9,615,438	9,560,593
総資産額(千円)	-	13,317,915	13,016,493
1株当たり純資産額(円)	-	937.81	897.39
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	31.30	5.31	24.66
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	72.2	73.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	319,749	-	588,537
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	26,218	-	365,247
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	240,166	-	109,184
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	1,545,318	1,439,517
従業員数(人)	-	210	206

(注) 1. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりませ
 ん。

3. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
 おりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	210	[26]
---------	-----	------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。就業人員には、当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含みますが、いずれも該当はありません。

2 従業員数の[]は、臨時従業員数を外書しております。

(2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	207	[10]
---------	-----	------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。就業人員には、当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含みますが、いずれも該当はありません。

2 従業員数の[]は、臨時従業員数を外書しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
塗料事業(千円)	1,092,663
合計(千円)	1,092,663

- (注) 1 金額は標準製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間の商品仕入実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
塗料事業(千円)	424,058
合計(千円)	424,058

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

主として見込生産によっておりますので、受注ならびに受注残高について特に記載すべき事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
塗料事業(千円)	2,011,337
合計(千円)	2,011,337

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱が実体経済へも影響を及ぼし、世界的な景気減速が国内経済にも波及し、円高・株安が企業業績を圧迫するとともに雇用環境が悪化するなど、景気は急速に後退局面を迎えております。

このような環境のもと、当社グループは、環境対応型塗料の国内市場の開拓に積極的な営業活動を展開するとともに、収益性の向上を図るため、業務の効率化や経営構造改革を強力に推進するなど、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の経営成績につきましては、売上高は20億1千1百万円、営業利益は5千7百万円、経常利益は1億5千2百万円、四半期純利益は5千4百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、総資産は3億1百万円増加して133億1千8百万円、負債は2億4千7百万円増加して37億2百万円、純資産は5千5百万円増加して96億1千5百万円となりました。総資産の増加の主なもの受取手形3億2千万円、投資有価証券4億4千7百万円、減少の主なもの売掛金1億7千1百万円、保険積立金3億3千5百万円であります。

負債の増加の主なもの買掛金2億8千7百万円、減少の主なもの賞与引当金8千2百万円であります。また、純資産の増加の主なもの利益剰余金2億2千3百万円、減少の主なもの自己株式の増加1億2千1百万円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第3四半期期首残高より3百万円増加し、15億4千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、6千8百万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益の1億円、仕入債務の増加による1億1千8百万円、減少した資金ではたな卸資産の増加による9千9百万円、賞与引当金の減少による7千9百万円でありま

す。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、1千2百万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では生命保険の満期による1千5百万円、減少した資金では生命保険の積立による2千4百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、5千3百万円となりました。

その主な要因は、配当金の支払による4千7百万円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、4千6百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末の経常的な設備の更新計画を除き、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成21年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株でありま す。
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(5) 【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,748,000	-	単元株式数1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,121,000	10,121	同上
単元未満株式	普通株式 131,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	10,121	-

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	1,748,000	-	1,748,000	14.56
計	-	1,748,000	-	1,748,000	14.56

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	326	310	306	303	302	302	289	270	255
最低(円)	302	292	280	290	287	277	261	253	227

(注) 最高・最低株価は、大阪証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,175,318	3,019,517
受取手形	1,759,465	1,439,834
売掛金	1,044,532	1,215,119
有価証券	-	200,500
商品	357,281	402,063
製品	704,757	590,561
原材料	220,126	188,866
仕掛品	54,647	69,112
貯蔵品	43,755	44,552
繰延税金資産	89,430	105,860
その他	48,772	34,117
貸倒引当金	90,000	87,000
流動資産合計	7,408,083	7,223,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,672,801	1,671,950
減価償却累計額	983,563	948,277
建物及び構築物(純額)	689,238	723,673
機械装置及び運搬具	315,337	304,255
減価償却累計額	254,831	241,104
機械装置及び運搬具(純額)	60,506	63,151
工具、器具及び備品	349,598	372,759
減価償却累計額	301,629	300,217
工具、器具及び備品(純額)	47,969	72,542
土地	942,194	942,194
リース資産	72,359	-
減価償却累計額	17,399	-
リース資産(純額)	54,960	-
有形固定資産合計	1,794,867	1,801,560
無形固定資産		
ソフトウェア	16,776	21,451
施設利用権	9,783	10,473
電話加入権	6,121	6,121
リース資産	4,748	-
無形固定資産	37,428	38,045
投資その他の資産		
投資有価証券	2,692,061	2,244,676
保険積立金	1,001,008	1,335,690
繰延税金資産	304,065	298,134
その他	81,403	76,287
貸倒引当金	1,000	1,000
投資その他の資産合計	4,077,537	3,953,787
固定資産合計	5,909,832	5,793,392
資産合計	13,317,915	13,016,493

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	432,521	494,805
買掛金	1,700,105	1,412,917
リース債務	26,020	-
未払金	231,042	154,812
未払法人税等	96,006	119,966
未払消費税等	22,788	17,352
前受金	1,905	35
預り金	92,471	56,795
賞与引当金	33,963	115,961
役員賞与引当金	-	12,500
設備関係支払手形	501	11,112
流動負債合計	2,637,322	2,396,255
固定負債		
リース債務	34,041	-
長期預り保証金	240,598	206,371
繰延税金負債	9,962	8,270
退職給付引当金	626,507	646,550
役員退職慰労引当金	154,047	198,454
固定負債合計	1,065,155	1,059,645
負債合計	3,702,477	3,455,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,210,193
利益剰余金	7,708,799	7,486,259
自己株式	656,017	535,320
株主資本合計	9,553,107	9,451,532
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,323	108,120
評価・換算差額等合計	61,323	108,120
少数株主持分	1,008	941
純資産合計	9,615,438	9,560,593
負債純資産合計	13,317,915	13,016,493

(2) 【 四半期連結損益計算書 】
 【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)
売上高	6,273,025
売上原価	4,380,877
売上総利益	1,892,148
販売費及び一般管理費	1,556,574
営業利益	335,574
営業外収益	
受取利息	11,199
有価証券利息	30,992
受取配当金	9,348
受取賃貸料	32,130
塗装情報サービス会費	74,605
生命保険満期差益	28,966
その他	20,766
営業外収益合計	208,006
営業外費用	
支払利息	898
支払補償費	1,134
その他	393
営業外費用合計	2,425
経常利益	541,155
特別利益	
固定資産売却益	127,675
特別利益合計	127,675
特別損失	
役員退職慰労金	16,080
固定資産処分損	11,454
投資有価証券評価損	44,106
特別損失合計	71,640
税金等調整前四半期純利益	597,190
法人税、住民税及び事業税	226,105
法人税等調整額	43,891
法人税等合計	269,996
少数株主利益	75
四半期純利益	327,119

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	2,011,337
売上原価	1,420,980
売上総利益	590,357
販売費及び一般管理費	532,971
営業利益	57,386
営業外収益	
受取利息	3,336
有価証券利息	2,514
受取配当金	4,300
受取賃貸料	12,984
塗装情報サービス会費	62,780
生命保険満期差益	5,180
その他	8,301
営業外収益合計	94,367
営業外費用	
支払利息	301
支払補償費	207
その他	443
営業外費用合計	65
経常利益	151,688
特別利益	
貸倒引当金戻入額	7,000
固定資産売却益	553
特別利益合計	7,553
特別損失	
投資有価証券評価損	44,106
特別損失合計	44,106
税金等調整前四半期純利益	100,029
法人税、住民税及び事業税	14,148
法人税等調整額	31,415
法人税等合計	45,563
少数株主利益	25
四半期純利益	54,441

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	597,190
減価償却費	88,481
退職給付引当金の増減額(は減少)	20,044
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	44,407
賞与引当金の増減額(は減少)	81,998
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,500
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,000
受取利息及び受取配当金	51,540
支払利息	898
為替差損益(は益)	2,123
有形固定資産売却損益(は益)	127,675
有形固定資産処分損益(は益)	11,454
投資有価証券評価損益(は益)	44,106
売上債権の増減額(は増加)	149,044
たな卸資産の増減額(は増加)	85,412
仕入債務の増減額(は減少)	214,293
未払消費税等の増減額(は減少)	5,436
その他	133,451
小計	523,566
利息及び配当金の受取額	47,146
利息の支払額	898
法人税等の支払額	250,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	319,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	50,000
有価証券の売却及び償還による収入	200,000
有形固定資産の取得による支出	270,440
有形固定資産の売却による収入	384,674
投資有価証券の取得による支出	692,846
投資有価証券の売却及び償還による収入	122,860
保険積立金の積立による支出	81,844
保険積立金の解約による収入	414,842
その他	1,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,218

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	121,022
リース債務の返済による支出	19,562
配当金の支払額	99,573
少数株主への配当金の支払額	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	240,166
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	105,801
現金及び現金同等物の期首残高	1,439,517
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,545,318

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	(1)重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 たな卸資産 棚卸資産の評価基準及び評価方法については、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、次のとおり変更しております。 製品・仕掛品 総平均法による原価法から総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) 商品・原材料・貯蔵品 先入先出法による原価法から先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

	<p>当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)</p>
	<p>(2)リース取引に関する会計基準の適用 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を、第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。</p> <p>リース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、期首に前連結会計年度末における未経過リース料期末残高相当額(利息相当額控除後)を取得価額としてリース資産を計上する方法によっております。</p> <p>また、少額リース資産、短期リース資産等については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。</p>

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
(有形固定資産の耐用年数の変更) 当社及び連結子会社の機械装置については、従来、耐用年数を5～10年としておりましたが、第2四半期連結会計期間より8～10年に変更しました。 この変更は、平成20年度の税制改正を契機に減価償却システムの耐用年数を見直し、整備したたことによるものであります。 当該変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)				
1 第3四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしていません。 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の第3四半期連結会計期間末日満期手形が第3四半期連結会計期間末日残高に含まれております。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受取手形</td> <td style="text-align: right;">185,964千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手形</td> <td style="text-align: right;">53,710千円</td> </tr> </table>	受取手形	185,964千円	支払手形	53,710千円	2 輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高は12,099千円となっております。
受取手形	185,964千円				
支払手形	53,710千円				
2 輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高は8,059千円となっております。	2 輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高は12,099千円となっております。				

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。	
運送費	160,480千円
宣伝費	127,228千円
役員報酬	63,032千円
従業員給料	475,195千円
賞与及び賞与引当金繰入額	131,961千円
福利厚生費	115,206千円
役員退職慰労引当金繰入額	9,033千円
退職給付費用	47,038千円
減価償却費	53,633千円
支払手数料	111,752千円

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。	
運送費	50,219千円
宣伝費	44,474千円
役員報酬	20,363千円
従業員給料	158,714千円
賞与及び賞与引当金繰入額	43,014千円
福利厚生費	37,905千円
役員退職慰労引当金繰入額	3,011千円
退職給付費用	16,053千円
減価償却費	17,187千円
支払手数料	37,299千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係	
(平成20年12月31日現在)	
現金及び預金勘定	3,175,318千円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	1,630,000千円
現金及び現金同等物	<u>1,545,318千円</u>

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 12,000,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 1,748,009株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	53,263	5	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金
平成20年11月4日 取締役会	普通株式	51,259	5	平成20年9月30日	平成20年12月4日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

5. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

当社は、平成20年8月4日付けで自己株式を400,000株取得いたしました。この結果、第2四半期連結会計期間において自己株式が1億2千1百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は6億5千6百万円となっております。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社グループは各種塗料の製造・販売を主事業としておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める塗料事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

投資有価証券には一部金融派生商品が含まれていますが、当デリバティブ取引は、当社グループの事業の運営において重要なものとはなっていないことから記載は省略しています。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 937.81 円	1株当たり純資産額 897.39 円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,615,438	9,560,593
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	1,008	941
(うち少数株主持分)	(1,008)	(941)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額 (千円)	9,614,430	9,559,652
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期 末(期末)の普通株式の数(株)	10,251,991	10,652,687

2. 1株当たり四半期純利益

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純利益 31.30 円 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 5.31 円 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純利益		
四半期純利益(千円)	327,119	54,441
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	327,119	54,441
期中平均株式数(株)	10,452,339	10,251,875

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第63期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)中間配当については、平成20年11月4日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....51,259千円

1株当たりの金額.....5円

支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成20年12月4日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月10日

イサム塗料株式会社
取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 竹村 明 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 松嶋 秀行 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。